

## 弘前学院大学社会福祉学部専任教員 2015年度の研究業績\*

\*：以下においては、2016年度現在の本学部専任教員が2015年度（2015年4月～2016年3月）に発刊・発表した研究業績（但し、編著書、学術論文、口頭発表のみ）を掲載する。掲載内容は各自の自己申告に基づく。また、掲載の順は五十音順である。

## 大野拓哉（教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【学術論文】</b> 1. 福祉サービスの「利用」の意味 2. 「権利擁護」の批判的検討—ソーシャルワーカーに求められる人権視点—	単著 単著	2016年3月 2016年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第16号1～12頁 『ソーシャルワーク実践研究』第3号（春号）14～24頁（ソーシャルワーク研究所）

## 小川幸裕（准教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【論文】</b> 1. 独立型社会福祉士の活動評価にみる活動領域の概念化の検討—個人事務所における社会変革に関する活動に着目して— 2. 独立型社会福祉士の社会変革に関する活動評価にみる活動領域の概念化—法人形態での活動に着目して—	単著 単著	2016年3月 2016年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第16号, 13～20頁 北海道地域福祉研究 (19), 75～86頁
<b>【口頭発表】</b> 独立型社会福祉士における法人形態の強みと課題—法人経営の活動プロセスに着目して—	共同	2015年7月	日本社会福祉学会東北部会第14回研究大会

## 葛西久志（教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【著書】</b> 専門職の能力と組織—福祉・看護・教育の三分野から—	共著	2016年3月	弘前学院大学地域総合文化研究所『地域学』第12巻1～40頁
<b>【報告】</b> 専門職の能力と組織—福祉・看護・教育の三分野から—	共同	2015年11月	弘前学院大学地域総合文化研究所シンポジウム

## 西東克介（教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【著書】 土岐寛『行政と地方自治の現在』	共著	2015年4月	北樹出版（第10章 戦後我が国教育委員会制度の「分離」と「統合」）
【学術論文】 米国の個人主義・革新（進歩）主義・専門職	単著	2016年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第16号 35～44頁

## 高橋和幸（准教授）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 1. 除雪ボランティアを通じた互助・共助コミュニティの構築に関する研究（その7）	単著	2016年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第16号 45～63頁
2. 青森県における除雪ボランティアの実態とその普及に向けた課題に関する調査研究	単著	2016年3月	弘前学院大学地域総合文化研究所『地域学』第12巻1～31頁
【口頭発表】 1. 豪雪地域における除雪ボランティアの実態とその普及に向けた課題に関する調査報告（1）	単独	2015年7月	日本社会福祉学会『東北部会第15回研究大会』（青森県立保健大学）
2. 豪雪地域における除雪ボランティア活動と行政支援の現状	単独	2015年7月	東北社会学会『第62回大会』自由研究報告（東北大学）
3. 豪雪地帯指定市町村が考えている「今後の除雪ボランティア支援」について	単独	2015年9月	日本雪工学会『雪氷研究大会（2015.松本）』（信州大学）
4. 青森県の除雪ボランティアの現状	共同	2015年10月	青森県医師会主催『第24回青森県長寿研究会』（青森市民ホール）*高橋和幸、吉岡利忠

## 丸山龍太（助教）

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
【学術論文】 2010年代初頭の生活保護	単著	2016年3月	『弘前学院大学社会福祉学部研究紀要』第16号 92～101頁
【口頭発表】 2010年代初頭の生活保護	単独	2015年7月	日本社会福祉学会東北部会第15回研究大会

吉岡利忠 (教授)

著書、学術論文等の名称	単著・共著等別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称
<b>【学術論文】</b>			
1. Sumoylated $\alpha$ -skeletal muscle actin in the skeletal muscle of adult rats.	共著	2015 (平成27) 年7月	Mol.Cell.Biochem Vol.409 P59 ~ 66
2. Deficiency of heat shock transcription factor 1 suppresses heat stress-associated increase in slow soleus muscle mass of mice.	共著	2015 (平成27) 年9月	Acta.Physiol Vol.215 P191 ~ 203
3. オリンピアン・パラリンピアンと体力科学について考える	共著	2016 (平成28) 年2月	体力科学 第65巻 第1号 P10 ~ 13
<b>【口頭発表】</b>			
1. A possible role of stress response in the transition of myosin heavy chain phenotypes of antigravitational muscle in response to gravitational unloading.	共同	2015 (平成27) 年6月	IAA2015 Human in space (Czech, Prague)
2. アディポネクチン受容体欠損は骨格筋細胞分化を抑制する	共同	2015 (平成27) 年7月	第23回日本運動生理学大会 (東京都)
3. 筋肉がすること・できること	単独	2015 (平成27) 年9月	第2回保健科学研究会 (青森県弘前市)
4. 身体運動後の骨格筋におけるSUMO化修飾の老化	共同	2015 (平成27) 年9月	第2回保健科学研究会 (青森県弘前市)
5. 筋損傷後の異なる温度刺激の組み合わせが再生過程における筋衛星細胞の動態に及ぼす影響	共同	2015 (平成27) 年9月	第70回日本体力医学会 (和歌山県和歌山市)
6. 筋損傷後のアイシングと温熱刺激の組み合わせが回復過程におけるミオシン重鎖分子種に及ぼす影響	共同	2015 (平成27) 年9月	第70回日本体力医学会 (和歌山県和歌山市)
7. 骨格筋で新たに見出された分子量の異なる $\alpha$ -アクチンの細胞内局在の検討	共同	2015 (平成27) 年9月	第70回日本体力医学会 (和歌山県和歌山市)
8. 乳酸が培養骨格筋細胞の分化に及ぼす影響	共同	2015 (平成27) 年9月	第70回日本体力医学会 (和歌山県和歌山市)
9. 骨格筋細胞の分化におけるアディポネクチン-アディポネクチン受容体1シグナルの関与	共同	2015 (平成27) 年9月	第70回日本体力医学会 (和歌山県和歌山市)
10. 青森県の除雪ボランティアの現状	共同	2015 (平成27) 年10月	第24回青森県長寿研究会 (青森県青森市)
11. Expression level of importin and exportin of mouse skeletal muscle response to unloading with or without reloading.	共同	2015 (平成27) 年11月	8th FAOPS (Thailand, Bangkok)